

ドウダンツツジの苗増殖・育苗技術			
[要約] ドウダンツツジは、実生増殖もしくは挿し木増殖が可能であり、遮光条件下での育苗と定期的な追肥により苗の生育が向上する。また、苗高20cm程度に生長した苗を生育に適する山林に植栽することで、8割程度の生存率を確保できる。			
茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所	令和7年度	成果区分	普及

1. 背景・ねらい

ドウダンツツジ（種名：アブラツツジ *Enkianthus subsessilis* (Miq.) Makino）は、近年、国内外の市場からの需要が高く、高収益品目として出荷量を伸ばしている。ドウダンツツジは、山林に自生している株から枝を採取して出荷しているが、その生育は極めて遅く、出荷には10年以上を要するとされており、このままでは資源の枯渇が懸念される。そこで、中山間地域における枝物経営の安定化を目指し、苗増殖及び育苗技術を開発する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) ドウダンツツジ苗は、実生増殖もしくは挿し木増殖の2つの方法で増殖することができる。それぞれ、は種適期は3月中旬～4月中旬、挿しつけ適期は6月中旬～7月上旬である（図1）。
- 2) ドウダンツツジ苗は、70%遮光ネットと竹すだれを利用して遮光率90%程度の環境で育苗することで生育が良くなる。また、微粉ハイポネックス（N-P-K=6.5-6-19）を500倍に希釈し、4～6月にかけて8回程度追肥することで、苗の生育が促進される（図1）。
- 3) 2～3年間育苗し、苗高20cm程度、主幹径1.5mm以上に生長した苗を山林に植栽する。その際、①山の尾根筋や山頂付近など、風通しや水はけのよい環境、②直射日光の当たる時間の短い北～北西～西向きの斜面、③斜度10°以上の傾斜地、④相対照度10%程度の薄暗い環境、⑤土壌pH3～4程度（KCl抽出）の酸性土壌等、ドウダンツツジの自生地に似た条件の環境に植栽することで、植栽1年後の時点で8割程度の生存率を確保できる（表1）。
- 4) ドウダンツツジ苗の1株当たりの生産コストは、実生苗174円、挿し木苗226円である（表2）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果は、県北地域の枝物生産者を対象に普及する。
- 2) 本試験で取り扱う樹種はアブラツツジ *E. subsessilis* (Miq.) Makino であり、ドウダンツツジは本種の流通名である。
- 3) 本試験に供試したドウダンツツジ苗は、令和2年～令和7年にかけて山間地帯特産指導所内で育苗したものである。種子及び挿し穂は、大子町内の山林に自生しているドウダンツツジから、地権者の許可を得て採取したものである。
- 4) ドウダンツツジ苗の生育には年次変動があるため、3年以上経過しても目標の苗高まで生長しない可能性がある。
- 5) 本成果の詳細は、「ドウダンツツジ苗生産マニュアル」としてまとめ、山間地帯特産指導所ホームページで公開している。
(<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/santoku/index.html>)

4. 具体的データ

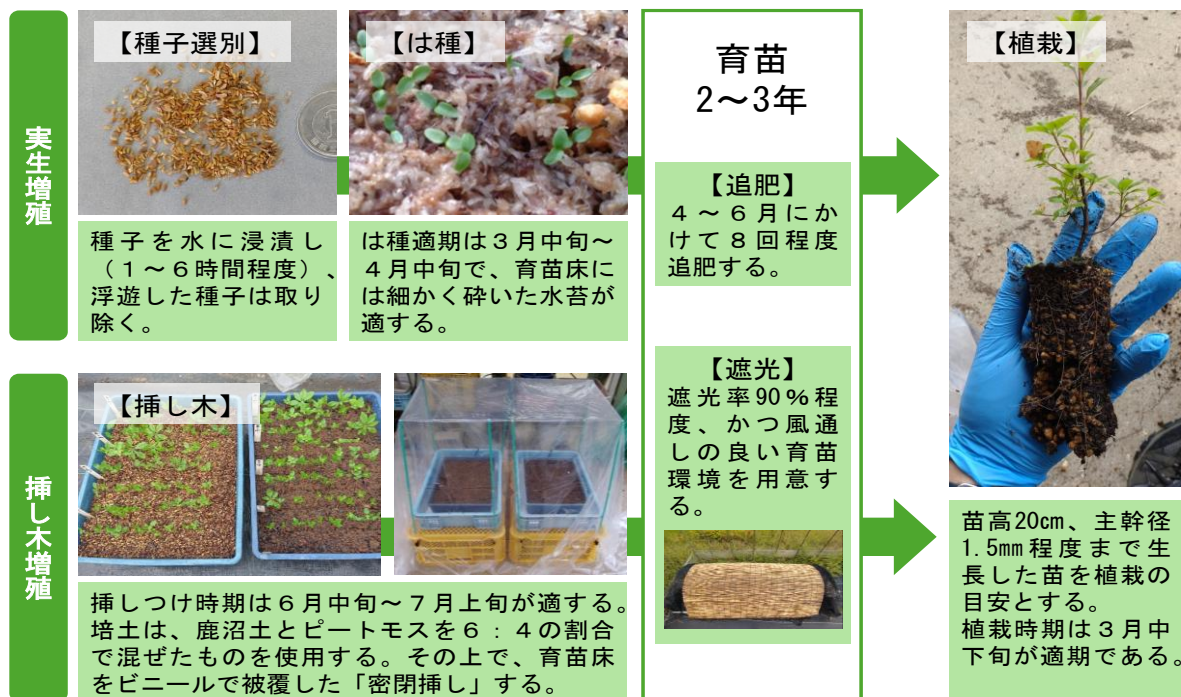


図1 ドウダンツツジ育苗の流れ

表1 ドウダンツツジ苗植栽地点の環境調査結果及び生存率

調査項目	単位	植栽地点				
		大子町中郷	大子町上郷	大子町左貫	常陸大宮市上小瀬	大子町頃藤
標高	m	333.4	233.6	255.2	133.4	130.1
植栽環境						
斜面方位	-	W 270	W 266	WSW 244	NE 54	WSW 241
斜度	度	14.7	35.8	44.6	21.3	11.4
土壌pH(KCl)	-	2.28	3.48	3.52	4.58	3.33
相対照度	%	3.6	1.3	2.4	2.3	10.5
生存率 ¹⁾	%	75.0	85.0	95.0	80.0	95.0

1) 1地点当たりの植栽本数は20本。植栽した苗の平均苗高は17.1cm、平均主幹径は1.8mmである。植栽日は令和6年6月14～20日、調査日は令和7年9月26日～10月3日である。

表2 ドウダンツツジ苗の生産コスト

分類	資材内訳	金額 ¹⁾	
		実生苗	挿し木苗
育苗場所	防草シート、遮光ネット 等	7,848円	9,047円
種子選別	ふるい(1mm目合い) 等	1,233円	0円
育苗容器	育苗箱、育苗ポット 等	524円	1,519円
培土	水苔、鹿沼土、ピートモス 等	6,497円	9,790円
肥料	微粉ハイポネックス	824円	824円
その他	ピンセット、剪定鋏 等	479円	1,359円
合計金額		17,405円	22,539円
1株当たり金額		174円	226円

1) 200株の苗を3年間育苗し、100株の植栽用苗を得た場合を想定した金額である。また、ドウダンツツジの種子や挿し穂にかかる金額は含めていない。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

ハナモモの株枯れ対策技術の開発とドウダンツツジの苗増殖・育苗技術の確立・令和3年～令和7年度・山間地帯特産指導所